

第24回 BMIRC 研究会

とき

平成26年 **10月16日** (木) 10:30 ~ 12:00


ところ

九州工業大学飯塚キャンパス
研究棟E726 (生命情報工学科会議室)

講師

松村 幸彦

広島大学 大学院工学研究院 エネルギー・環境部門 教授



高温高圧の水の中でバイオマスを分解ガス化する超臨界水ガス化は、含水性のバイオマスの有効利用のために適切な技術として研究が進められている。しかしながら、高温高圧の反応システムに、従来の化学工学的なアプローチがどこまで有効で、どのようなことを考えていく必要があるかは必ずしも明確ではなかった。各種のバイオマスならびにモデル化合物を用いた実験を通して、反応速度論、化学熱力学、伝熱工学などの観点から、化学工学的に超臨界水ガス化を検討した結果を整理して紹介する。

お問い合わせ

九州工業大学

バイオメディカルインフォマティクス研究開発センター (BMIRC)

倉田 博之

E-mail: kurata@bio.kyutech.ac.jp

Tel: 0948-29-7828

<http://www.bmirc.kyutech.ac.jp>

化学工学的アプローチ

バイオマスの超臨界水ガス化への